

双海町ジュニアリーダー会を通じた青少年健全育成の取組

伊予市教育委員会事務局社会教育課

『双海町ジュニアリーダー会』とは

双海地域には「双海町こども教室」を経験した子どもたちで組織されている「双海町ジュニアリーダー会」というボランティア団体がある。当団体は、自分たちを育ててくれた「こども教室」に恩返ししたいという思いを持った中学生から大学生で構成されている。近年は、「こども教室」の運営スタッフとしてのみならず、地域貢献活動にも力を入れている。

1 本年度の取組

(1) 双海町こども教室の運営

小学生を対象とした、ふるさと体験塾、おもしろ大作戦、夕焼け村（通学合宿）の三つの事業があり、地域を代表する取組として定着している。



【ふるさと体験塾】

(2) 肝試し大会の開催

令和4年度から、地域の活性化を目的として地域住民を対象とした「肝試し大会」を開始した。今年度は100名を超える住民の参加があった。



【肝試し大会】

(3) 海岸線憩いのフォトスポット創出

双海地域を走る国道378号のうち約16kmの海岸沿いに、地域住民が散歩の途中で休憩したり、観光客が写真を撮ったりして交流できるようにベンチを設置している。今年度は4基のベンチを設置した。



【ベンチ設置の様子】

(4) 公民館まつりでの模擬店出店

上灘公民館、下灘公民館での公民館まつりでは、様々な事情から地域の自治公民館や団体の出店が減少している。代わりに模擬店を出店したり、秘伝のレシピを受け継いだりすることで、公民館まつりを盛り上げた。



【公民館まつり】

(5) ふるさとPR動画作成

ふるさと双海の魅力を紹介したいという思いから「ふるさとCM大賞」へ出品する動画を作成した。動画制作にあたり、地域の魅力を発信できるよう地域住民にも積極的に関わってもらった。

2 成果

令和5年度は、中学生25名、高校生11名、大学生8名の44名から申込みがあり、過去最多人数での活動となった。なかでも中学生は、双海中学校全校生徒の約4割がジュニアリーダーとして活動している。これらのメンバーが「双海町こども教室」のボランティアスタッフとして活動しているが、教室の一つを「ジュニアリーダー企画」として任せ、自分たちで企画、運営を行わせることで考える力や実践力を養うことができている。

また、昨年度から「肝試し大会」と「海岸線憩いのフォトスポット事業」の二つの事業を立ち上げた。2年目となった今年度は、肝試し大会の参加者や、設置ベンチに座って写真を撮る観光客が増えており、地域貢献につながっている。さらに今年度は、初回ミーティング時に「地域の魅力をPRする動画を作成したい」という積極的な意見があり、地域の協力を得ながら15秒のCM動画を作成することができた。

今年度の公民館まつりでは、長年出店していた漁師さんのグループが活動を休止したことから、出店ができなくなっていた。そこで、ジュニアリーダーが漁師さんから事前に2回調理方法を指導していただき、その味を受け継いで出店することにも挑戦した。

これらの成功体験が、青少年の自己肯定感を高めることにつながっている。生き生きと活動するジュニアリーダーの姿を見て、自分もジュニアリーダーになりたいという小学生が増えており、持続可能な青少年健全育成活動に発展している状況にある。

3 課題

双海町ジュニアリーダー会の活動が活発になり、青少年の健全育成の好循環が生まれたことにより、メンバーの人数が増え続けている。その一方で、中学を卒業して高校、大学へ進学すると生活の幅が広がり、ジュニアリーダーの活動に参加しなくなるケースもある。また、人数が増えると一人ひとりの役割が少なくなってしまう、活動意欲をなくしてしまうこともある。今後は組織運営を見直すことで、メンバー一人ひとりが十分な役割を担う体制を構築していく必要がある。

また、令和4年度から地域活性化事業にも取り組み始めたため、活動が活発化して地域に貢献できる組織になっている反面、年間の活動日数が大幅に増えている。部活動や習い事などで多忙感を感じている子どもも多く、活動に参加できにくくなるのではないかと危惧している。今後は、ジュニアリーダーがやりたいことに「ゆとり」を持って取り組んでいけるように支援しながら、双海地域における青少年健全育成の取組を進めていきたい。